

## 四日市西警察署協議会議事録

令和5年度第4回四日市西警察署協議会	
日時 場所	令和6年2月22日（木）午後3時～午後5時 四日市西警察署3階会議室
出席者	1 警察署協議会 7名 尾賀久夫委員、門脇健司委員、高木美紀子委員、 千種久美委員、萩村浩史委員、樋口悦子委員、松岡篤委員 2 警察署 8名 署長、副署長、生活安全課長、地域課長、刑事課長、 交通課長、会計課長、警備係長
傍聴者数	なし
公開・非公開の別	公開

### 議 事 概 要

- 1 警察署長挨拶
- 2 災害救助訓練の視察
- 3 管内治安情勢の説明（警察署長）
  - (1) 刑法犯認知件数  
「令和5年中の刑法犯認知件数は252件（前年比+21件）であり、侵入窃盗、万引き等の犯罪が増加した。」旨説明した。
  - (2) 特殊詐欺認知件数  
「令和5年中の特殊詐欺認知件数は3件（前年比±0件）で、被害額は約129万円（前年比-129万円）である。なお、三重県内の特殊詐欺認知件数は274件、被害額は約7億円で、過去10年で見ると、被害件数、被害額共に最高を記録した。被害者の多くは65歳以上の高齢者で、固定電話に架かってきた犯人からの電話によって被害に遭っていることから、自動通話録音警告機の貸出しのほか、金融機関やコンビニエンスア等と連携した水際対策を推進し、被害防止に努めていく。」旨説明した。
  - (3) 交通事故発生状況  
令和5年中の人身事故発生件数は68件（前年比-21件）で、うち死亡事故発生件数は3件（前年比+2件）である。事故の発生は、通勤・通学時間帯などに集中し、事故形態としては追突事故が多くを占

めている。警察としては、交通事故を減らすため、引き続き、事業所等と連携した交通安全教育を推進するほか、自転車利用者に対しては、ヘルメット着用を促進していく。」旨説明した。

#### (4) 山岳事故発生状況

「令和5年中の山岳事故発生件数は21件（前年比-9件）である。山岳事故を減らすために登山用アプリの利用や各種広報媒体による広報啓発活動を推進していく。」旨説明した。

### 4 「ゾーン30プラス」の説明（交通課長）

#### 5 協議内容

##### (1) キックボードの危険性について

＜委員＞ ニュース等で電動キックボードによる危険な運転を目にするが、歩行者の安全を確保するため、どのように取り組んでいるのか。

【交通課長】 悪質な運転者に対する取締りを強化するほか、交通ルールの周知徹底を図っていく。

##### (2) ゾーン30プラスについて

＜委員＞ 竹永小学校付近の道路を「ゾーン30プラス」に設定した理由を教えてほしい。

【交通課長】 竹永小学校の関係者や周辺住民からの要望のほか、交通情勢を踏まえ、菰野町と協議して設定した。

##### (3) スムーズ横断歩道について

＜委員＞ 「スムーズ横断歩道」について説明してほしい。

【交通課長】 車両の速度抑制を図るほか、歩行者の立ち位置を高く見せるために、横断歩道の路面にハンプを付けたものである。

##### (4) 自動通話録音警告機について

＜委員＞ 固定電話によく不審電話が架かってくるが、詐欺目的の電話ではないかと不安を感じている。

【生活安全課長】 特種詐欺に対しては、直接電話に出ないことが被害防止につながる。

生活安全課では、自動通話録音警告機の貸出しを行っているので、必要な方は申請していただきたい。

### 6 警察署協議会会長挨拶

警察署協議会を通じて、警察に対する理解や信頼が深まった。貴重な機会をいただき感謝している。

### 7 警察署長謝辞

備 考	報道機関 1社1名
-----	-----------